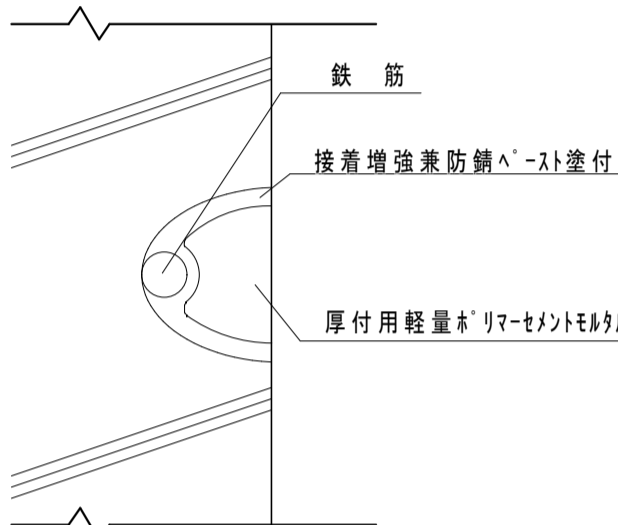
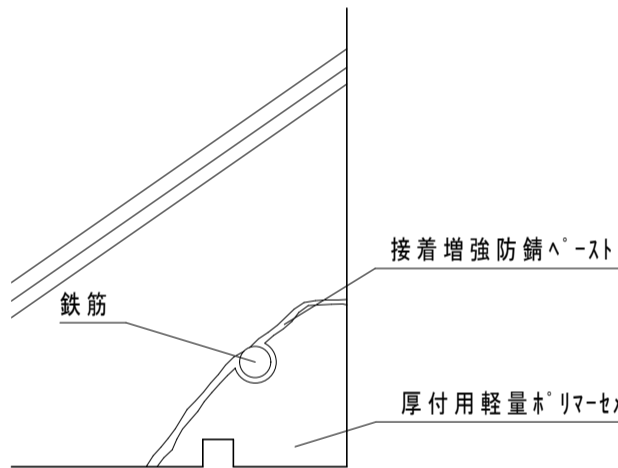
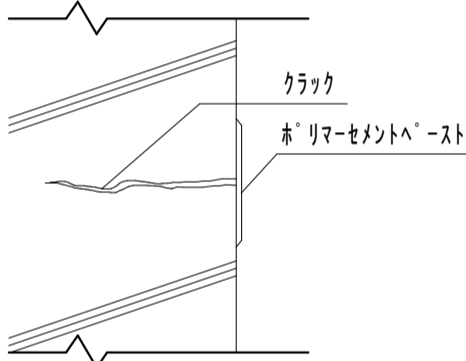
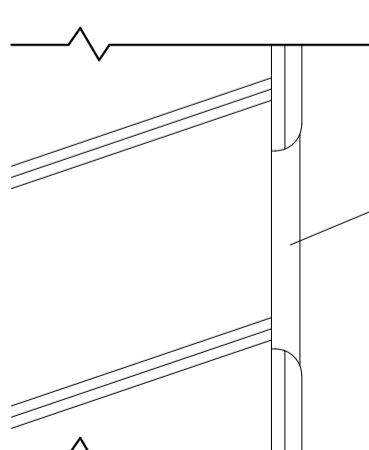
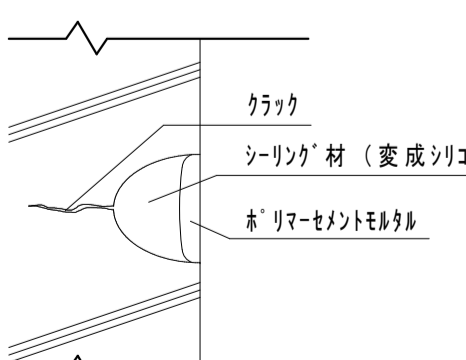
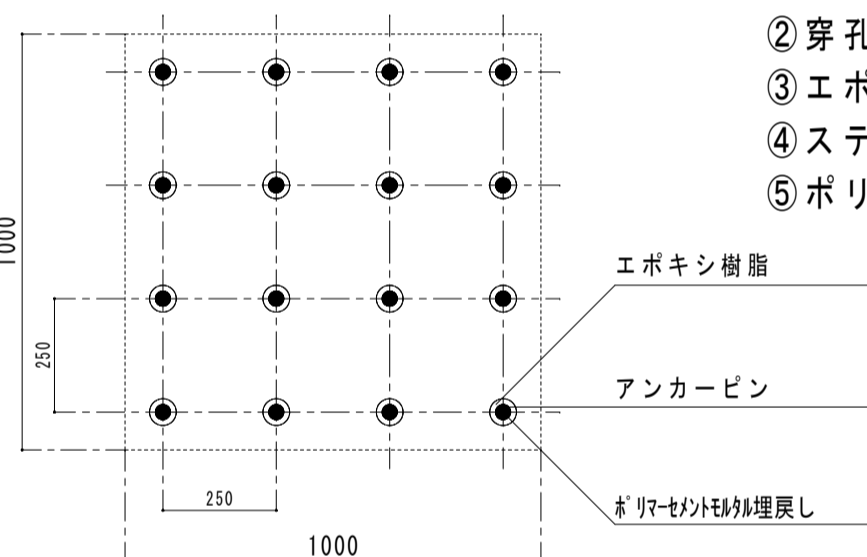
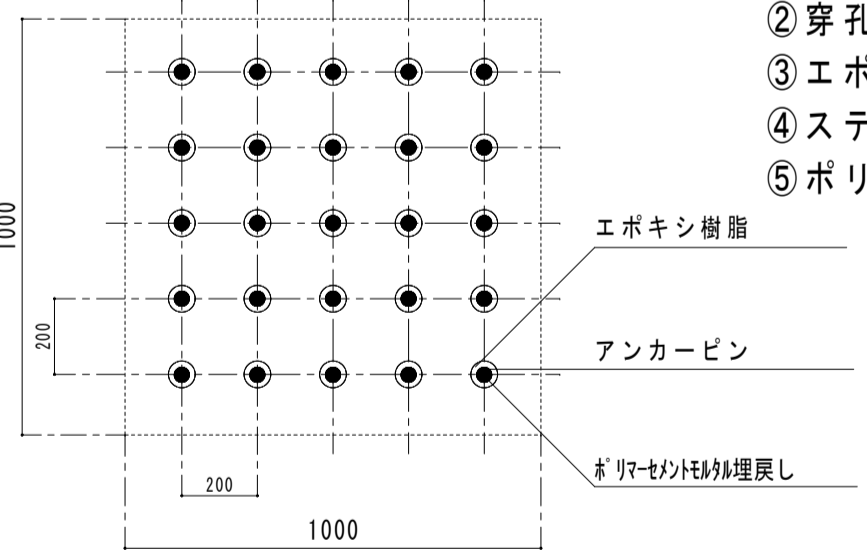
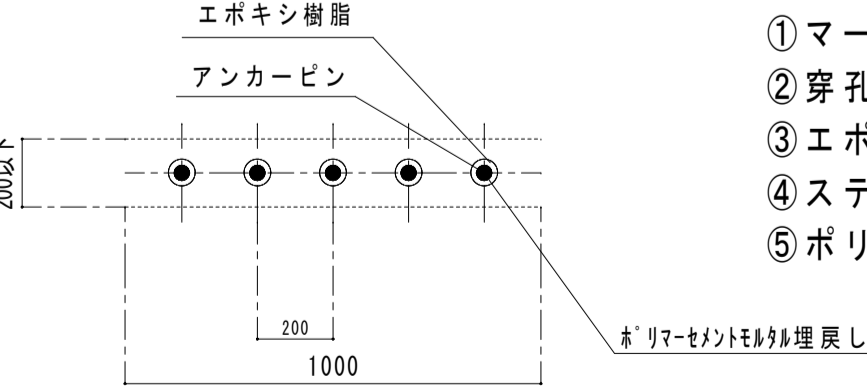
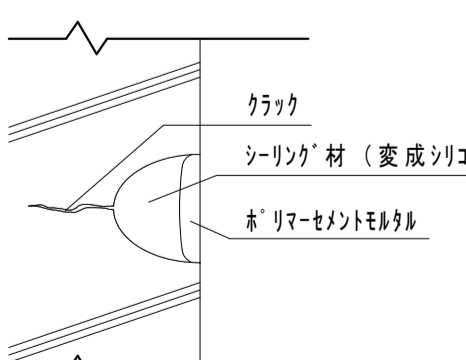
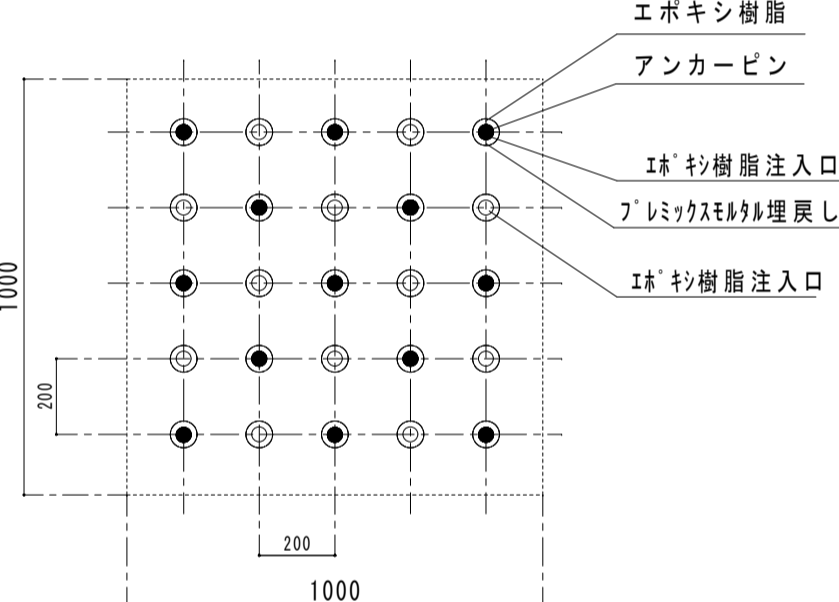
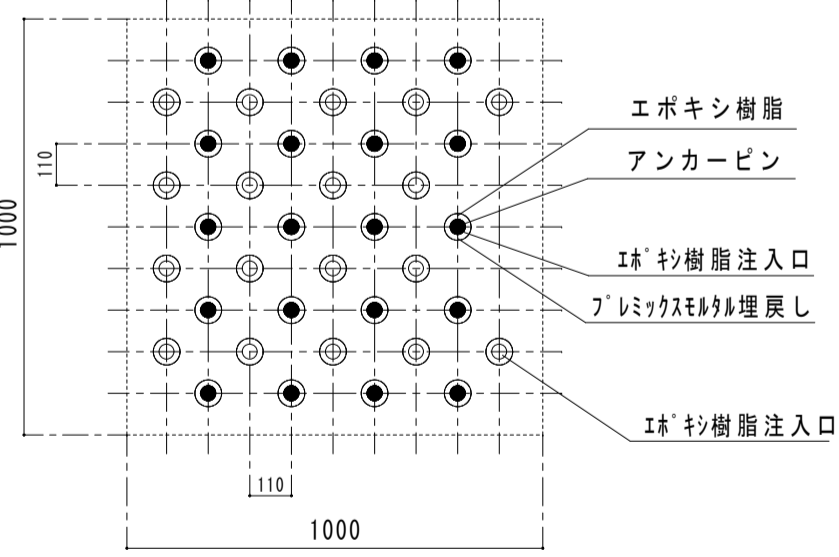
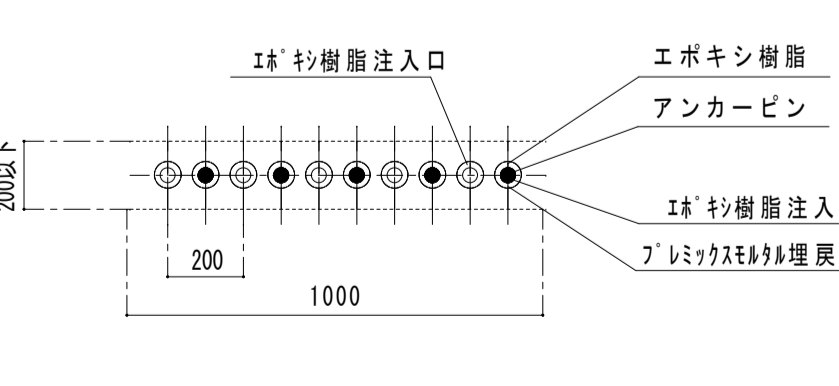


外壁改修工事特記仕様書														
＜携帯型水循環式湿潤吸引電動サンダーケレン工法＞		＜露出鉄筋欠損部補修＞												
<div>①事前調査 ②仮設足場の設置 ③場内清掃、床養生 ④作業前点検 ⑤水量の確認 ⑥発電機、水処理機の設置</div> <div>⑦除去作業、消耗品交換 ⑧検査 ⑨廃材処理・集積 ⑩機材、養生材撤収 ⑪工事記録作成、保管</div> <p>※石綿含有分析調査報告書（別資料を町より受理すること）の結果、 7ｽﾍﾞｽﾄ発塵いゝﾙ3とする。但し 石綿障害予防規則第6条第1項のただし書きにある 工法区分Ⅱに該当し隔離養生や負圧養生は不要とする。</p> <p>※層2（ﾍﾞﾝﾄ系下地調整材）の層に石綿含有。</p> <p>※ｱｽﾍﾞｽﾄ除去工事に伴う必要届出について、提出が必要な図面・報告書・計画書等は 届出者が施主（町）又は施工業者に問わず、提出書類の準備の協力をすること。 （レベル1～2）（レベル1～3） ・特定粉じん排出等作業実施届出書 ・建築物解体等作業届 ・建設工事計画書</p> <p>※除去後の特定建材は特別管理産業廃棄物として処理すること。</p>		<div>①鉄筋はつり出し（※露出鉄筋部のみ） 発錆による浮き、剥離部を左官用ハンマー、タガネ等ではつり、健全な鉄筋を出す。（セバについては、5cm程度はつり出した後切断する。）</div> <div>②錆び落とし及び清掃（※露出鉄筋部のみ） 鉄筋についている錆をワイヤーブラシ、サンドペーパー及びケレン工具を用い除去し、圧縮空気、ウエス、ダスター刷毛等で十分清掃する。</div> <div>③接着増強兼防錆ペースト塗付 接着増強兼防錆ペーストを刷毛等で塗布する。（塗布量；0.6kg／㎡程度）</div> <div>④モルタル埋め戻し モルタル埋め戻しとして、厚付用軽量ポリマーセメントモルタルで面一になるまで埋戻す。 （塗布量；10mm厚で9～10kg／㎡程度）</div> <div><div>①鉄筋のはつり出し（※露出鉄筋部のみ） ②錆落とし、清掃（※露出鉄筋部のみ） ③接着増強兼防錆ペースト塗付 ④厚付用軽量ポリマーセメントモルタル充填</div></div> <div><div>①錆鉄筋のはつり出し（※露出鉄筋部のみ） ②錆落とし、清掃（※露出鉄筋部のみ） ③接着増強防錆ペースト塗付 ④厚付用軽量ポリマーセメントモルタル充填</div></div> <p>露出鉄筋部の補修 狭幅部（役物）</p>												
＜外壁クラック補修 幅0.2mm未満＞		＜既存塗膜の劣化部補修＞												
<div>①清掃 亀裂に沿って、ワイヤーブラシ等を使用し清掃する。</div> <div>②ポリマーセメント塗布 ラスター刷毛等でポリマーセメントペーストを摩り込むように塗布する。</div> <div><div>① 清 掃 ② ポリマーセメントペースト塗布</div></div>		<div>①劣化膜の除去 脆弱化した塗膜の表面及びふくれ等サンダー、スクレーパー等により除去する。</div> <div>② 高圧水洗浄 粉化物、付着物等は、高圧水洗浄（15MPa程度）を使用して除去し、清掃を行う。</div> <div>③既存仕上材同等品にて模様合わせ サンダー等により部分的に除去した箇所を、既存仕上材同等品を用いて補修し、模様合わせを行う。</div> <div><div>既存仕上材同等品にて模様合わせ</div></div>												
＜外壁クラック補修 幅0.2mm以上＞		＜モルタル浮き部補修（0.25㎡ 未満/箇所）＞												
<div>①カット処理 亀裂に沿って、電動カッターにて10×10～15mm程度でU字カットを行う。</div> <div>②清掃 溝内のごみや埃はワイヤーブラシ、ラスター刷毛等で清掃する。</div> <div>③プライマー塗布 溝内のシーリング材充填部にプライマーを塗布する。</div> <div>④充填 シーリング材（変成シリコン）をカートリッジガンにて空気を巻き込まないように充填する。充填は表面より3～5mm程度低めにする。</div> <div>⑤埋め戻し シール材硬化後、ポリマーセメントモルタルを充填しヘラ等で表面を平滑に仕上げる。</div> <div><div>① カット処理 ② 清 掃 ③ プライマー塗布 ④ シーリング（変成シリコン）充填 ⑤ ポリマーセメントモルタル埋戻し</div></div>		<div>「アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法」</div> <div>①マーキング テストハンマー等により、コンクリートの浮き部をマーキングし、ピンニング位置を決定する。</div> <div>②注入孔の穿孔及び清掃 コンクリート用ドリルにて穿孔し清掃する。ドリル口径はピンより1～2mm程度大きいものとし、深さはコンクリートに30mm程穿孔するものとする。穿孔後、注入孔にエアブロー等でエアーを送り、清掃する。</div> <div>③エポキシ樹脂注入 エポキシ樹脂を注入ポンプで圧入する。注入量は、1穴当り25mlとする。エポキシ樹脂は、2液性JISA6024規格品とする。</div> <div>④ステンレスピン挿入 注入後、直ちにアンカーピンを挿入する。アンカーピンは材質がステンレスSUS304で、径4mmで全ネジ切りのものとする。 ※ピンの長さは、浮き部のモルタルの厚みによって変更する場合があります ある為、浮き部の3ヶ所の平均をとって決める事。</div> <div>⑤孔埋め ピン挿入後、ポリマーセメントモルタルで埋め戻す。注入完了後24時間は周囲を叩いたり、振動を加えてはならない。</div> <div><p>＜一般部分＞</p><p>＜指定部分＞</p><p>＜狭幅部分＞</p></div>												
＜外壁クラック補修 幅0.2mm以上＞		＜モルタル浮き部補修（0.25㎡ 以上/箇所）＞												
<div>①カット処理 亀裂に沿って、電動カッターにて10×10～15mm程度でU字カットを行う。</div> <div>②清掃 溝内のごみや埃はワイヤーブラシ、ラスター刷毛等で清掃する。</div> <div>③プライマー塗布 溝内のシーリング材充填部にプライマーを塗布する。</div> <div>④充填 シーリング材（変成シリコン）をカートリッジガンにて空気を巻き込まないように充填する。充填は表面より3～5mm程度低めにする。</div> <div>⑤埋め戻し シール材硬化後、ポリマーセメントモルタルを充填しヘラ等で表面を平滑に仕上げる。</div> <div><div>① カット処理 ② 清 掃 ③ プライマー塗布 ④ シーリング（変成シリコン）充填 ⑤ ポリマーセメントモルタル埋戻し</div></div>		<div>「アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法」</div> <div>①マーキング テストハンマー等により、コンクリートの浮き部をマーキングし、樹脂注入位置とピンニング位置を決定する。</div> <div>②注入孔の穿孔及び清掃 コンクリート用ドリルにて穿孔し清掃する。ドリル口径はピンより1～2mm程度大きいものとし、深さはコンクリートに30mm程穿孔するものとする。穿孔後、注入孔にエアブロー等でエアーを送り、清掃する。</div> <div>③エポキシ樹脂注入 エポキシ樹脂を注入ポンプで圧入する。注入量は、1穴当り25mlとする。エポキシ樹脂は、2液性JISA6024規格品とする。</div> <div>④ステンレスピン挿入 注入後、直ちにアンカーピンを挿入する。アンカーピンは材質がステンレスSUS304で、径4mmで全ネジ切りのものとする。 ※ピンの長さは、浮き部のモルタルの厚みによって変更する場合があります ある為、浮き部の3ヶ所の平均をとって決める事。</div> <div>⑤エポキシ樹脂注入 ステンレスピン硬化・固定後、残りの穴にエポキシ樹脂を注入ポンプで圧入する。注入量は1穴当り25mlとし、エポキシ樹脂は、2液性JISA6024規格品とする。</div> <div>⑥孔埋め ピン挿入後、プレミックスモルタルで埋め戻す。注入完了後、24時間は周囲を叩いたり、振動を加えてはならない。</div> <div><p>＜一般部分＞</p><div>①マーキング ②穿孔 ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン埋め込み ⑤エポキシ樹脂注入 ⑥プレミックスモルタル埋戻し</div><p>＜指定部分＞</p><p>＜狭幅部分＞</p></div> <div>●：アンカーピン固定部      ◎：注入口</div>												
		<table><tr><td colspan="2">工事名 黒田小学校外壁改修工事</td><td rowspan="2">株式会社 西島建築設計事務所 NISHIJIMA ARCHITECT OFFICE 福岡市中央区笹丘1丁目17-29 管理建築士 松川 基範 一級建築士 第 123791号</td></tr><tr><td>図面名 外壁改修工事特記仕様書（1）</td><td>図面番号 A - 2</td></tr><tr><td rowspan="2">SCALE</td><td>A1図 1/ NOSCALE</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>A3図 1/ NOSCALE</td></tr><tr><td colspan="2">令和 6年 2月</td></tr></table>		工事名 黒田小学校外壁改修工事		株式会社 西島建築設計事務所 NISHIJIMA ARCHITECT OFFICE 福岡市中央区笹丘1丁目17-29 管理建築士 松川 基範 一級建築士 第 123791号	図面名 外壁改修工事特記仕様書（1）	図面番号 A - 2	SCALE	A1図 1/ NOSCALE		A3図 1/ NOSCALE	令和 6年 2月	
工事名 黒田小学校外壁改修工事		株式会社 西島建築設計事務所 NISHIJIMA ARCHITECT OFFICE 福岡市中央区笹丘1丁目17-29 管理建築士 松川 基範 一級建築士 第 123791号												
図面名 外壁改修工事特記仕様書（1）	図面番号 A - 2													
SCALE	A1図 1/ NOSCALE													
	A3図 1/ NOSCALE													
令和 6年 2月														